

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。
 検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で28,000cells/ml、シャットネラ属が97cells/ml、ケラチウム属が17cells/ml、確認されました。
カレニア・ミキモトイが浦ノ内湾の広い範囲で漁業被害が想定される密度を大きく超えており、シャットネラ属も漁業被害が想定される密度を超えている地点がありました。また、浦ノ内湾の広範囲で海水の着色が確認され、湾奥部ではスズキやボラなどの天然魚のへい死も確認されました。

今後も増殖・拡大が想定されますので、**餌止めなど慎重な養殖管理**をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深	カレニア・ミキモトイ	ケラチウム属	シャットネラ属	ケイ藻類
鳴無	0.5m	11,200	2	21	わずか
	2m	5,200	5	9	わずか
	5m	1	0	0	わずか
中学校前	0.5m	17,000	1	97	わずか
	2m	9,000	14	32	わずか
	5m	5	0	0	わずか
目ノクソ	0.5m	12,400	6	8	わずか
	2m	11,600	13	53	わずか
	5m	14	1	0	わずか
光松	0.5m	28,000	0	1	わずか
	2m	26,000	1	8	わずか
	5m	170	6	0	わずか
大鹿	0.5m	13,200	12	44	わずか
	2m	7,200	17	21	わずか
	5m	17	0	0	わずか

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類へい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml～(餌食いの悪化)

